


Active!Mail について補足

ログアウト




普段 Active!mail でメールを送受信した後は、Windows のシャットダウンを行う前に一旦 Active!mail のログアウトを行うこと。ログアウトするには Active!mail

に login した後に表示される画面の左下の  をクリックすればよい。

ヘルプ






実習では Active!mail のすべての機能については扱わない。逆に最低限の利用法だけを紹介するにとどめている。細かな利用法についてはヘルプが用意されているのでそこを参照すること。ヘルプは Active!mail に login した後に表示

される画面の左下の  をクリックすることで表示される。

送ったメールの再確認






	件名	送信者	日付	サイズ
<input type="checkbox"/>	・ [任意なし]	Yutaka Torada	200110424	689
<input type="checkbox"/>	・ [任意なし]	Yutaka Torada	200110424	985
<input type="checkbox"/>	・ [任意なし]	Yutaka Torada	200110424	743
<input type="checkbox"/>	・ [任意なし]	Yutaka Torada	200110424	28K
<input type="checkbox"/>	・ [任意なし]	Koichi Cozci	200110415	1K

前回の課題 2. で、メールを作成して、 をクリックして送信したはずだが、そのとき **送信メール保存** にチェックを付けたと思う。この場合は送信したものの控えが  から選択できる  に残されていることがわかるだろう。(上の例の左側にある「受信箱」メニューを選択すること。右側にも同じ形の「受信箱」があるが、これは別の機能。)

メールの本文を Word に引きうつす。(文書間のコピー and ペースト)



Word の実習で行った、コピー and ペーストと同様の方法で行います。
(教科書 page 36. 下側例)



1. メール本文が見える状態で、マウスカーソル(I)を使ってコピーしたい部分をドラッグし、選択(右図、灰色の状態)します。
2. 次に Web ブラウザの「編集」メニューから、「コピー」を選択します。
3. 続いて Word 文書の貼り付け(ペースト)したい部分をマウスでクリックし、マウスカーソルが目的地点で点滅するようにします。
4. この状態で、今度は Word の「編集」メニューの「貼り付け」を選択します。教科書に載っているように、  と並んでいる  をクリックしても同じように働きます。
5. 不必要な引用記号「>」や、余分な空白、改行などがあれば、ペーストしてから消去する。



挿し絵の利用

ペイントなどによって描かれた絵もコピー and ペーストによって Word の文書中に貼り付けることができる。

ネットワークドライブ()の「From Teacher」フォルダの担当教員、基礎実習のフォルダから、挿し絵のサンプル()などを開いてコピー and ペーストせよ。自分で新規に挿し絵を描いても構わない。

ペイントの場合、コピーは  のように並んだ機能パレットのうち、 をクリックして選択し、コピーしたい絵柄の範囲をドラッグで選択してから、編集メニューの「コピー」を選択する。ペーストはいつもと同じ。

教科書 page 63 のようなクリップアートと呼ばれる、あらかじめ Word に用意された挿し絵を利用することも出来る。

WWWからの記述の引用

「コンピュータガイド インターネット編」の page 107-111 にあるように、Netscape Navigator や Internet Explorer を利用して、目的とするキーワードを含んだ WWW ページが検索できる。

これらの WWW ページに含まれる文書から、適切な部分を Word にコピー and ペーストすることによって引用することができる。

(但し引用する分量、出所の表示には注意。コンピュータガイド インターネット編 page 10-11 および page 401 などを参照、理解の上行うこと。)